

2025 年度

ニチイキッズ仙台くろまつ保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2025年12月19日（木）～1月31日（土）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2025年2月25日（水）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	ニチイの保育理念である「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」を念頭に置いて保育を進めることが出来た。 保育中でも子どもの様子や成長ぶりを共有し、担当の子どもだけではなく園児全員をの状況を把握出来るよう努めた。今後も積極的に保育研修に参加し、現状の子どもの姿や保育のあり方を学んでいきたい。
子どもの発達援助	日々の保育の中ではクラスの枠を超えて、全職員で成長や発達段階の姿をミーティングや職員会議で、こまめに伝えあい園全体で子どもの姿を捉え、理解し、発達援助にあたることが出来た。保育計画のなかでも保健・食育に関しては、年間計画立案時の共有において課題があり、今年度の振り返りを基にしっかり次年度の計画へ活かしていく。
保護者に対する支援	コドモン連絡帳と、送迎時に子どもに様子等を細やかに伝えたことで、より信頼関係を強固なものにすることが出来た。今後、保護者様が求めているもの、何に困っているのか、一歩先の事柄まで思いを巡らせ、丁寧に関わる中で、お子様についてより共通理解を図っていく。
保育を支える組織的基盤	子育て支援では無理せず、自分たちでできる計画をたてながらすすめ、地域の親子連れの方々に喜んでいただけた。次年度は、担当だけでなく全職員で取り組めるように内容等も意見を出し合っってブラッシュアップを図っていく。また、内部研修では様々な研修の中、自身を律する事やスキルアップに繋がった。定期的な職員面談も丁寧に行い、保育園の雰囲気や職員との関係、保育の質の向上を更に図っていく。

総評
食育活動、子育て支援では計画的にし、職員も子ども達も楽しく興味をもって行えた。時には子育て支援で地域の方にも参加いただき、好評を得ることが出来た。保育計画においては、会議にて全職員で確認することで、「ねらい」や「目的」を十分に把握したうえで、お子様一人ひとりの成長発達に繋げる保育援助をより心掛けられるように対応していく。 また、自然環境の変化における熊出現で行動制限が長く続いたが、ニチイの理念に沿った保育内容の充実をはかるべく、保育内容の工夫を行い、更なる保育力向上に努めていく。